

令和8年熊本地震による八代市付近の被災状況

8/23 06:00時点

- ・ 発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約135kmを規制解除
- ・ 8月14日6時に、一部対面通行（川田橋付近）となるが九州道全線（松橋ICからえびのIC）で一般車両も通行可能（九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保）
- ・ 8月18日6時に、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両も通行可能（南九州道による八代へのアクセスルートが確保）
- ・ 九州の関係機関により国道3号等の渋滞緩和に向けた調整を実施
8月3日には並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内を強化
- ・ 国道3号については、8月4日から7日（夜間）で、主要3箇所の舗装修繕を完了。その他の12箇所についても、8月10日から14日（夜間）で完了
- ・ 並行する県道338号の横江大橋については 17日に一般車両通行可
- ・ 国道219号の新萩原橋については 8月27日6時に通行可能となる予定

県道338号 横江大橋
・8月17日 一般車両通行可

<応急復旧後>



国道219号 新萩原橋

・8月27日6時(予定)
一般車両通行可能
(8月1日から緊急車両通行可)

<被災状況>



橋脚損傷

8/1 15:00～
緊急車両
通行可

7/30
15:00～
緊急車両
通行可

南九州道(日奈久IC～田浦IC)
は国土交通省管理

8月18日 6:00～
一般車両通行可

【凡例】	
通行止め区間:	✕
通行止め区間(緊急車両通行可):	✕
高速道路通行可完了:	—
国道3号、国道57号(直轄国道):	—
迂回路設定予定:	—
主な被災箇所:	✕

南九州道
妙見第一橋④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

<航空写真>



<被災状況>



九州道 川田橋
下り線を活用した対面通行

<応急復旧後>



下り線) 対面通行
上り線) 復旧工事中

九州道 片野川橋④⑤
応急復旧済



至)えびのIC

至)えびのIC

令和8年熊本地震による八代市付近の被災状況(高速道路)

8/23 06:00時点

【道路復旧状況(高速道路)】

- ・発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約135kmを規制解除
- ・8月14日6時に、一部対面通行(川田橋付近)となるが九州道全線(松橋ICからえびのIC)で一般車両も通行可
(九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保)
- ・8月18日6時に、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両も通行可能(南九州道による八代へのアクセスルートが確保)
- ・九州道と南九州道をつなぐ八代JCTから八代南IC間の復旧方法について、NEXCO西日本が有識者委員会を設置し、8月6日に第1回検討委員会を開催し、検討に着手
- ・お盆期間の東九州道への広域迂回を呼び掛けるとともに、料金調整を8月7日から16日まで実施

○南九州道 妙見第一橋④⑤ 段差大

<被災状況>



<航空写真>



8/14 6:00～
一般車両通行可
(一部対面通行あり)

<一般車通行状況(宮原SA付近)>



九州道 川田橋 下り線を活用した対面通行

<応急復旧後>



下り線) 対面通行
上り線) 復旧工事中

<対面通行>



7/29
14:00～
緊急車両通行可

至) えびのIC

至) えびのIC

8/1 15:00～
緊急車両
通行可

7/30
15:00～
緊急車両
通行可

8/18 6:00～
一般車両通行可

南九州道(日奈久IC～田浦IC)は国土交通省管理

令和8年熊本地震による被災状況（道路）

・道路の被害状況等（通行止め）

	7/28_21:00	7/30_05:00	8/20_06:00	8/21_06:00	8/23_06:00
高速道路	2路線7区間 ※点検中	3路線17区間 (約142km) ※うち8区間が 緊急車両通行可 (約73km)	1路線1区間 (約7km)	1路線1区間 (約7km)	1路線1区間 (約7km)
直轄国道	1路線1区間 ※点検中	全て解消	-	-	-
補助国道	1県1区間 ※点検中	1県2区間	1県1区間 ※緊急車両通行可	1県1区間 ※緊急車両通行可	1県1区間 ※緊急車両通行可
都道府県道等	3県9区間 ※点検中	3県17区間	2県3区間	2県3区間	2県2区間

【道路復旧状況】

- 地震発生後、翌朝には被災地への主要アクセスとなる国道3号及び国道57号のアクセスを確保
- 高速道路については、
 - ・発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約135kmを規制解除
 - ・8月14日6時に、一部対面通行（川田橋付近）となるが九州道全線（松橋ICからえびのIC）で一般車両も通行可能（九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保）
 - ・8月18日6時に、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両も通行可能（南九州道による八代へのアクセスルートが確保）
 - ・九州道と南九州道を連絡する八代JCTから八代南IC間の復旧方法について、NEXCO西日本が有識者委員会を設置し、8月6日に第1回検討委員会を開催し、検討に着手
 - ・お盆期間の東九州道への広域迂回を呼び掛けるとともに、料金調整を8月7日から16日まで実施
- 7月29日から災害派遣従事車両を対象として高速無料措置を実施
- 九州の関係機関により国道3号等の渋滞緩和に向けた調整を実施
8月3日には並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内を強化
- 国道3号については、8月4日から7日（夜間）で、主要3箇所の路面修繕を完了。その他の12箇所についても、8月10日から14日（夜間）で完了
- 並行する県道338号の横江大橋については 17日に一般車両通行可
- 国道219号の新萩原橋については 8月27日6時に通行可能となる予定
- 【自治体支援】
- トイレ環境確保のため道の駅の防災用コンテナ型トイレを被災地に8月6日までに15台派遣。さらに8台の派遣を準備



【凡例】

通行止め区間:  

通行止め区間（緊急車両通行可）:  

完了:  

国道3号、国道57号（直轄国道）:  

主な被災箇所: 



○電力、通信、上下水道、鉄道について、連絡調整を行っており、現時点で、道路への要請なし（ホトライン構築済み、災害時の連携を確認済み）

○緊急車両とは、緊急自動車（赤色回転灯付の車両）又は災害派遣等従事車両証明書を持参した車両など（給水車両、タンクローリーについては災害派遣等従事車両証明書を持参しなくても通行可能）

令和8年熊本地震による鉄道の被害状況等について

■ : 運休区間
✕ : 写真の被害箇所

JR鹿児島線

①小川～有佐間 軌道変状



②小川～有佐間 電柱損傷



肥薩おれんじ鉄道線

③肥後高田～日奈久温泉間 軌道変状



④上田浦駅 乗降場破損



在来線

宇土駅

JR鹿児島線

8月中の運転再開は困難な見込み
JR九州は、8月中に運転再開時期を示す意向
※宇土～小川間において、バスによる代行輸送を実施
※8月26日より、宇土～八代間において、バスによる代行輸送を実施予定

八代駅

肥薩おれんじ鉄道線

詳細な被害状況を確認中
復旧見込み未定
※バスによる代行輸送を実施

みなまた水俣駅

新幹線

熊本駅

日奈久断層帯

小川駅

8月中の運転再開は困難な見込み
JR九州は、8月中に運転再開時期を示す意向

(参考)九州自動車道(八代JCT～人吉IC間)
片野川橋 橋梁損傷

(参考)南九州自動車道(八代JCT～八代南IC間)
妙見第一橋 橋梁損傷

⑤熊本～新八代間 高架橋損傷



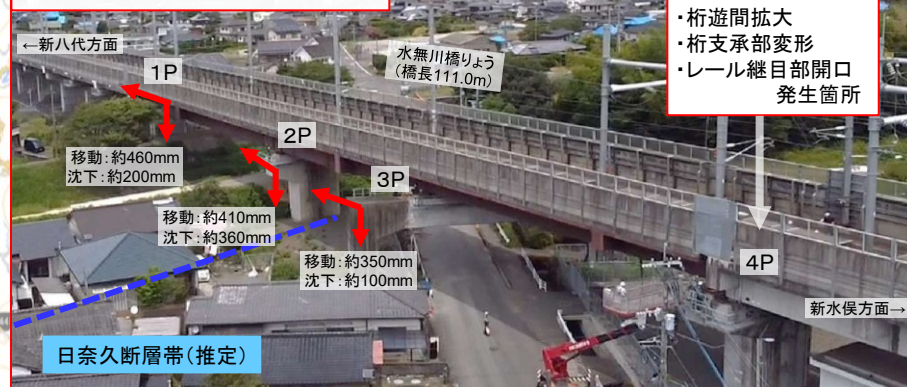
⑥熊本～新八代間 防音壁落下



⑦新八代駅 ホーム支柱損傷

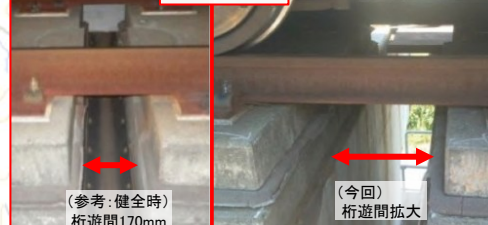


⑧新八代～新水俣間 橋脚の移動・沈下



・桁遊間拡大
・桁支承部変形
・レール継目部開口発生箇所

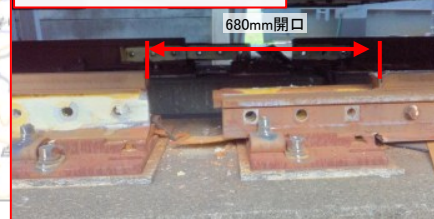
桁遊間拡大



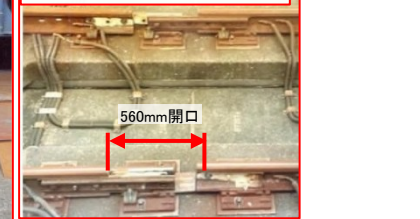
桁支承部変形



レール継目部開口(上り線)



レール継目部開口(下り線)



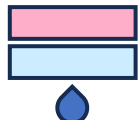
【令和8年熊本地震】水道施設の被害状況等について

国土交通省
令和8年8月23日
7:30時点

- 4 県（15 自治体）において断水が発生（最大断水戸数約108,100戸）
- 熊本県の3自治体において約3,600戸が断水中、そのうち約330戸は通水済み（漏水調査に必要な水量・水圧確保のため使用自粛を要請中）
- 全国の自治体及び工事業者により応急復旧を支援中（64班、約250人※） ※現場状況により班人数が変動するため人数は概略値

< 凡例 >

断水中
断水解消済※
応急給水実施中



こうしし
熊本県合志市（震度6弱）（断水期間：7/28）
断水戸数：0戸（最大断水戸数不明）

みふねまち
熊本県御船町（震度6弱）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約2,600戸）

くもとし
熊本県熊本市（震度6強）（断水期間：7/28～8/3）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約20,970戸）

こうさまち
熊本県甲佐町（震度5強）（断水期間：7/28～8/7）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約500戸）

やながわし
福岡県柳川市（震度5弱）（断水期間：7/28）
断水戸数：0戸（最大断水戸数7戸）

たらちよう
佐賀県太良町（震度4）（断水期間：7/28～29）
断水戸数：0戸（最大断水戸数41戸）

うとし
熊本県宇土市（震度6強）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約12,200戸）

みなみしまばらし
長崎県南島原市（震度5強）（断水期間：7/28～29）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約439戸）

かみあまくさし
熊本県上天草市（震度6弱）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約7,670戸）
※夜間断水あり

あまくさし
熊本県天草市（震度5強）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約1,100戸）

あしきたまち
熊本県芦北町（震度6弱）（断水期間：7/28～8/1）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約1,000戸）

ひとよしし
熊本県人吉市（震度5弱）
断水戸数：0戸（最大断水戸数約15,000戸）

うきし
熊本県宇城市（震度7）（断水期間：7/28～）
断水戸数：2,579戸（最大断水戸数約18,000戸）
配水管の漏水調査・復旧工事中
断水戸数の一部で通水済みであるが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中

ひかわちよう
熊本県氷川町（震度7）（断水期間：7/28～）
断水戸数：342戸（最大断水戸数約3,231戸）
配水管の漏水調査・復旧工事中
断水戸数のうち10戸で通水済みであるが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中

やつしろし
熊本県八代市（震度6強）（断水期間：7/28～）
断水戸数：688戸（最大断水戸数約25,269戸）
○八代市水道事業
断水戸数：329戸（最大断水戸数約18,000戸）
配水管の漏水調査・復旧工事中
断水戸数のうち319戸で通水済みであるが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中

○八代生活環境事務組合
断水戸数：359戸（最大断水戸数7,269戸）
配水管の漏水調査・復旧工事中

※断水解消とは、修繕等により水道本管まで通水可能になることをいう

【令和8年熊本地震】 応急給水等の状況

- 熊本県内の3自治体において、現在約3,600戸が断水中（最大断水戸数は、4県（15自治体）において約108,100戸）。
- 国土交通省、日本水道協会、自衛隊において、全国からプッシュ型で支援するよう、給水車を確保。現在、給水車119台で支援中。
- 給水ニーズを踏まえた給水箇所の拡充、避難所・医療機関への優先の徹底などのため、関係機関と連携し、現地応急給水支援本部を設置。
- 避難所・医療機関に加え、福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施。
- 引き続き、自衛隊の協力や、巡視船、水資源機構の可搬式浄水装置等からの給水により、応急給水の量や頻度を向上。
- 今後も猛暑日が続く中、給水ニーズを的確に把握し、きめ細やかに応急給水を実施。

＜給水車の派遣状況＞

（単位：台）

被災水道事業者	計	国交省	日水協	自衛隊
八代生活環境事務組合 （八代市と氷川町で構成 される一部事務組合）	20	3	17	0
宇城市	23	4	17	2
八代市	62	10	50	2
宇土市	4	1	1	2
熊本市	2	0	0	2
（派遣先調整中）	8	0	8	0
計	119	18	93	8

※上記の給水車を活用し、給水所への応急給水に加え、避難所の生活用水（仮設トイレ、シャワー）、医療機関、福祉施設でのニーズに対応

＜応急給水の実施状況＞



可搬式浄水装置（水資源機構）
設置場所：氷川町竜翔センター
処理能力：50m³/日

8月4日より生活用水として給水開始
8月5日より飲料水としても給水開始
8月9日より入浴支援を行い、21日
までに約 8,000名が利用



8月10日 トイレカーへの充水状況
（氷川町竜北東小学校）

令和8年熊本地震における水道の復旧見込みについて

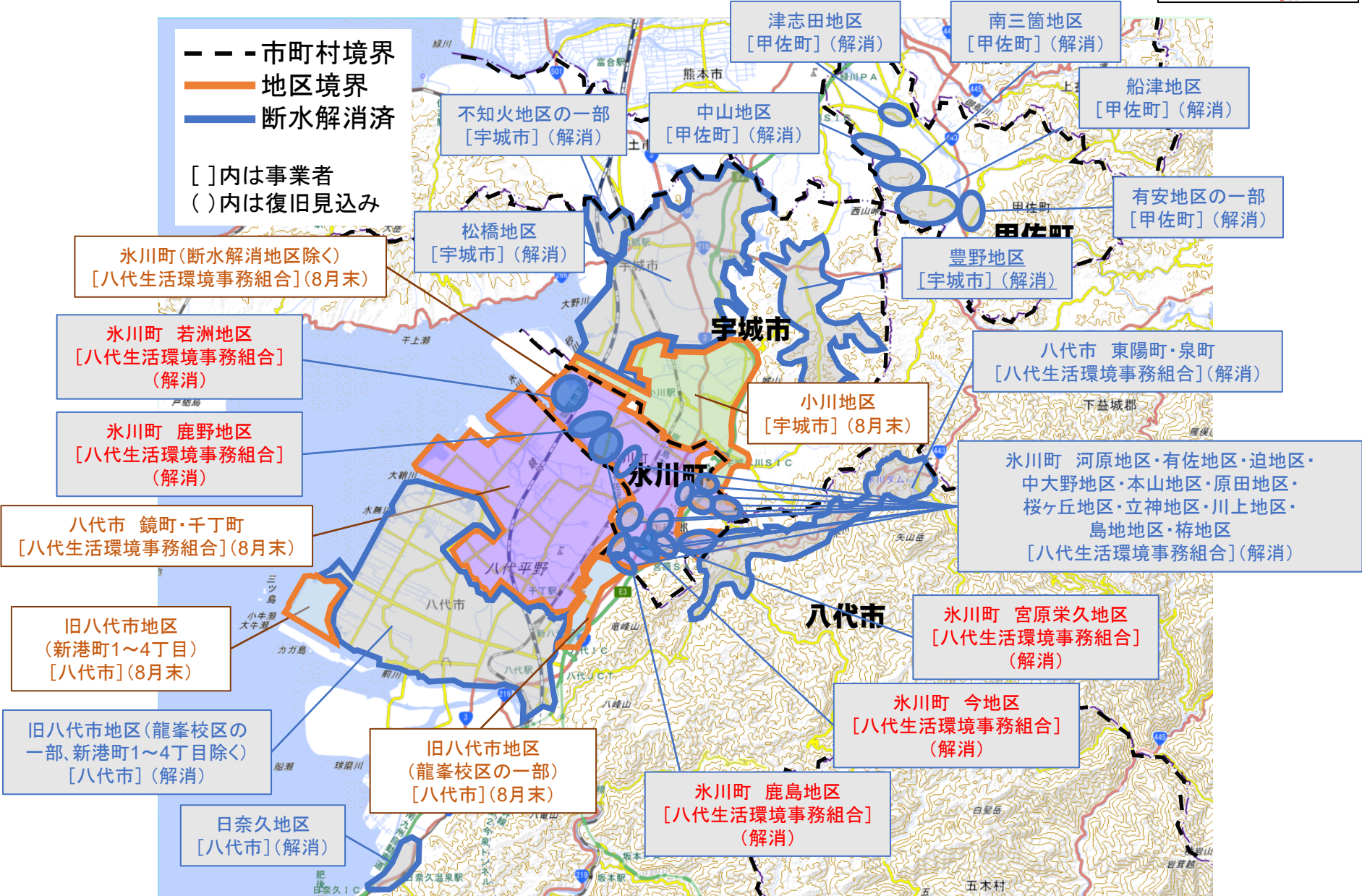
市町村	地区	断水解消見込み	市町村	地区	断水解消見込み
八代市	旧八代市地区(龍峯校区の一部、新港町1～4丁目除く)	解消	甲佐町	船津地区	解消
	旧八代市地区(龍峯校区の一部、新港町1～4丁目)	8月末		南三箇地区	解消
	日奈久地区	解消		中山地区	解消
	鏡町・千丁町	8月末		津志田地区	解消
	東陽町	解消		有安地区の一部	解消
	泉町	解消	氷川町	若洲地区、今地区、鹿野地区、鹿島地区、宮原栄久地区、河原地区、有佐地区、迫地区、中大野地区、本山地区、原田地区、桜ヶ丘地区、立神地区、川上地区、島地地区、梶地区	解消
				その他の地区	8月末
宇城市	松橋地区	解消			
	小川地区	8月末			
	豊野地区	解消			
	不知火地区の一部	解消			

※避難所、医療機関、福祉施設等の重要施設につながる管路については、上下水道一体で優先的に復旧を図る。

※断水解消とは、修繕等により水道本管まで通水可能になることをいう。

令和8年熊本地震における水道の復旧見込みについて

国土交通省
令和8年8月23日
7:30時点

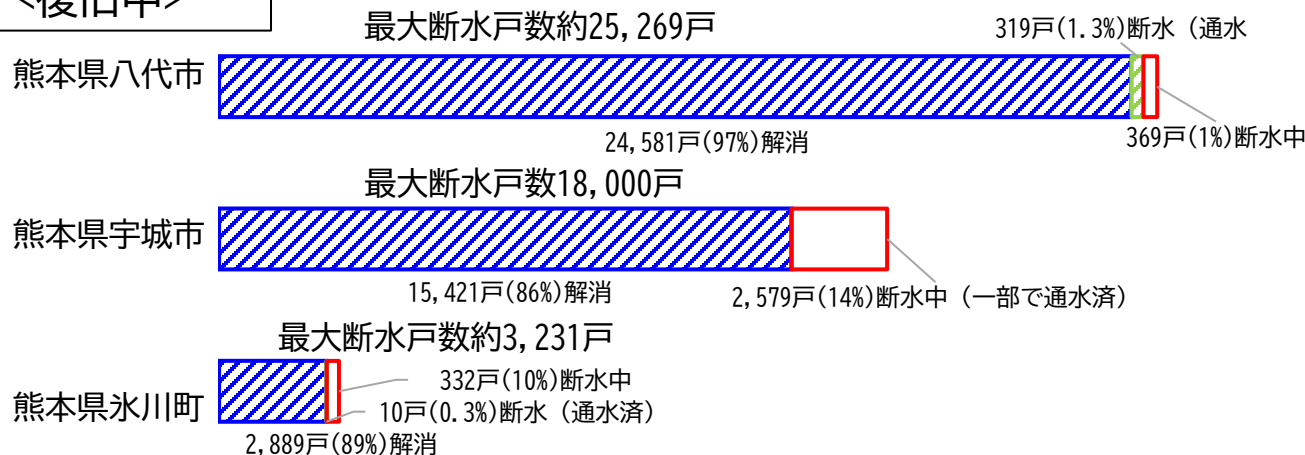


水道施設の復旧状況について

令和8年8月23日
7:30時点

熊本県の3自治体において約3,600戸が断水中、そのうち約330戸は通水済み（漏水調査に必要な水量・水圧確保のため使用自粛を要請中）

<復旧中>



<復旧済> ※1



<凡例> 断水解消※2 断水(通水済※3) 断水中

※1 復旧済の棒グラフは、最大断水戸数に対する割合を表示

※2 修繕等により水道本管まで通水可能になること

※3 通水済だが、漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中

令和8年熊本地震に伴う河川の被害状況等について

令和8年8月14日 6:30時点

国土交通省 水管理・国土保全局

○国管理河川では、点検が完了し、3水系8河川91箇所です堤防天端のクラックなどの被害を確認。

上記の内、250mにわたり堤防の沈下や亀裂、はらみ出しが生じた等、球磨川（くまがわ）堤防で緊急的な応急復旧工事を3箇所を実施し、完了済。その他の国管理河川の被害箇所88箇所についても応急対策を完了済。

なお、球磨川の下流部では、出水時の避難判断の目安となる洪水予報等の発表基準である、氾濫危険水位などを引き下げて運用中。

○県管理河川では、点検が完了し、5県1市（福岡県・佐賀県・長崎県・宮崎県・鹿児島県・熊本市）が管理する河川では、被害なし。

熊本県管理河川では、43河川295箇所です堤防沈下や護岸の変状などを確認し、応急対策を完了済。

なお、熊本県管理の7河川では、出水時の避難判断の目安となる水位到達情報等の発表基準である、氾濫危険水位などを引き下げて運用中。

○ダムでは、震度5弱以上の点検対象ダム（建設中：1、国管理：4、県管理：15、利水：37）で点検が完了し、被害なし。

被災した河川：—国管理—県管理 施設の被災箇所：●国管理●県管理

河川の被害状況：□国管理□県管理

＜国管理河川＞ 応急対策完了

白川（しらかわ）水系 白川
天端クラック等 計3箇所



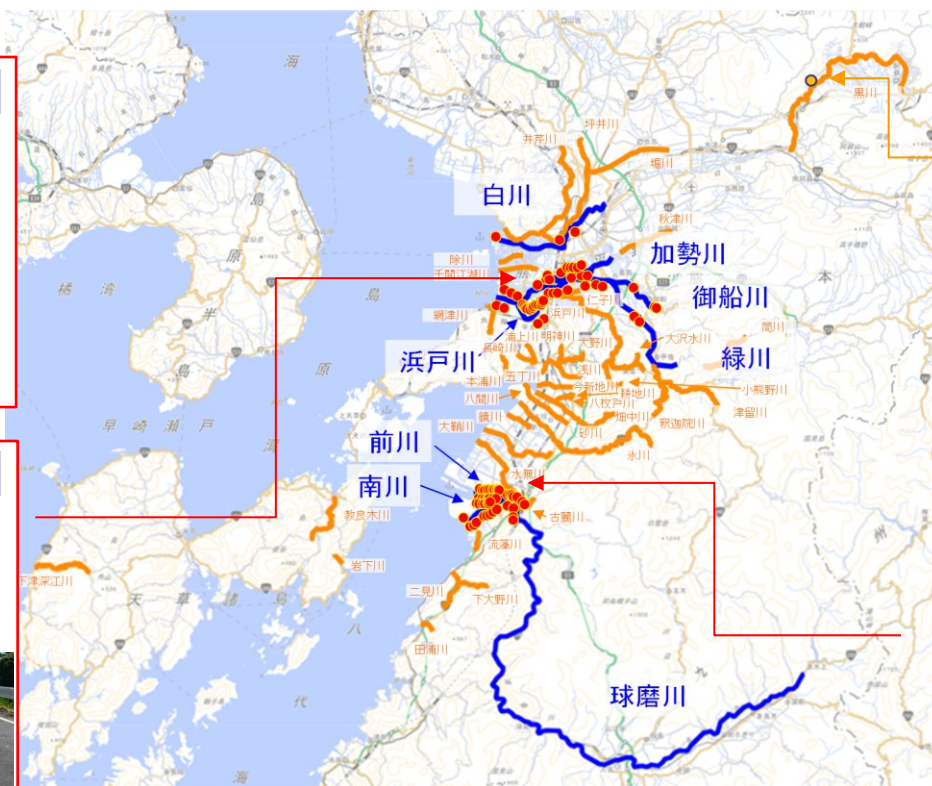
（熊本県熊本市）

＜国管理河川＞ 応急対策完了

緑川（みどりかわ）水系 緑川、浜戸川、
御船川、加勢川
天端クラック等 計44箇所



（熊本県熊本市）



※被害情報のあった河川を明示

＜熊本県管理河川＞

応急対策完了

堤防沈下や護岸の変状等

計43河川295箇所※

※損傷が軽微なため経過観察とする260箇所を含む

・白川（しらかわ）水系 黒川（くろかわ）

対策前



（熊本県阿蘇市）

＜国管理河川＞

応急対策等完了

球磨川（くまがわ）水系 球磨川、前川、南川
堤防沈下、天端クラック等 計44箇所

（うち、応急復旧工事：3箇所）



応急復旧前



応急復旧後

（熊本県八代市）